

## 児童発達支援自己評価結果（公表）

事業所名 はっぴいチャイルド 職員数 6名

令和7年3月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		利用者5名が遊んだり、走ったりするにはいい大きさ
	②	職員の配置数は適切であるか	6		休んだ場合でも指定人数より多くいる
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		どこで何をすることがわかりやすく構造化している。目から情報が入るようカードも使っている 玄関のバリアフリーは不十分だが現在の利用者には支障がないと考えている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		心地よく穏やかな気持ちになれるように今回スヌーズルームを設置
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		モニタリングと新支援計画案作成時には参加して頂いている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		地域社会との繋がりが少ないので、今年は畑を作りたい。又近くのスーパーへの買い物学習は続けたい
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		毎月一回会報発行している 自己評価（公表）について保護者・玄関先にお知らせしている。ホームページ掲載は只今調整中。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	第三者のつながりを強くし業務改善に努めたい
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		外部研修だけでなく、内部での研修、書籍やYouTubeでの研修実施
適切な支援の提	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		年に1～2回の面談実施し保護者のニーズや家庭での様子を共有
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	自発は標準化されたツールを使用して状況を把握している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		家族支援、地域支援の項目については、今後もっと見直しをしていかなければいけない。家族支援は都度行っている

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		中間評価などで会議し見直しをしている
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		職員間での情報交換行い常に話し合いをしている
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		季節に合わせてお楽しみ行事を計画している
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		個別が多いが、遊びや運動で集団を経験している
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		自分の役割、支援児の確認を日々行っている、全員が保護者からの連絡帳を確認して対応している
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	時間に余裕があった時、気づいた点を話し合う。些細なことも記録をとることを徹底。ケース会議周知日誌などで共有
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		些細なことも記録をとることを徹底。ケース会議で話し合い重ねている
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		6カ月でモニタリングを実施
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		管理者。発達支援管理責任者、主任が参加している
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		担会にて保健師と情報を共有している
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	担会で情報を共有 具体的な連携は保護者と行っている
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		6	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		もっと積極的に連携を図っていかなければならない
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	5	父兄には近隣の小学校の情報を毎年お知らせしている 学校には連絡しづらいところがある 担当者会議で話し合いをしている
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	須賀川市の支援センターはできたばかりで活用実績はまだない状況である
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	他の施設も併用している為必要性を感じない。幼稚園や保育園に通っている子が多い

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		休まず参加している。管理者が主だが支援時間や協議会の内容を見て職員も参加
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		来所時、お帰りの際にお子様の状況を報告し理解を得ている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6		1,2回実施、全員の父兄には行っておらず今年も実施を予定している
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		入所時、変更があった時随時行っている 年1回説明を個別に行っている
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		ガイドラインや内容をお見せしながら説明は行っていないが計画については同意を得ている。今年度から5療育の話もしている
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		面談時や依頼があった時、困っていそうな方へ声掛けて実施している
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	おしゃべり会などで保護者同士のつながりを持っているが、共働きの方が多いため、又他事業所を使っている為、全員の方が交流を持つ保護者会は難しい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		迅速に対応している
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		月1回はつばいチャイルド通信発行。行事や制作物の写真、研修で得た情報をお知らせしている
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		シュレッダーで破棄している
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		LINEで療育中の様子をお知らせしている 出欠の変更などまた事業所側の急なお知らせなどLINEでやり取りもしている。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	療育の事業、自閉症児が多いという点で難しい。近隣の方には理解を深めていきたい
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		内部研修で対応シミュレーション実施 年間で計画立て避難訓練は2カ月に1度実施(火事、地震、台風など想定)
④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		2カ月に1度実施	
④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		都度服薬の変更なども伺い把握している	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指	3	3	保護者からの聞き取り時にアレルギーの種類・食品など把握。おやつ準備の場所に張りだし確認している

	示書に基づく対応がされているか			
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		別室でクールダウンできるよう対応 大声で騒ぐ泣き叫ぶなどのお子さんには、契約時に保護者様含め対応を協議している